

様式1〔申し合わせ事項〕：【委員会、全協：共通様式】

〔氏名： 三林 浩 〕

令和5年（2023年）8月21日（月）

「地方議会改革の論点と課題」

四日市大学副学長 小林慶太郎 様

1. 研修テーマに即した所感

このテーマは令和4年度に議長の諮問がありましたが、一度も議論することなく今日に至っております。まずは「通年議会」とは何かを勉強する講義内容だと思っていましたが〔新人議員が大半（2期以内）＝8人〕中身はいきなり「論点と課題」の内容で、どうやって取り組んだら良いかが分かりづらかった。

また他市町の事例を挙げていましたが、どちらかと言うと失敗例のところが多く感じ、出来れば成功例のところも挙げてほしかった。

正直な感想としては「通年議会」を取り入れるのはハードルが高いイメージに受け止めました。私は「通年議会」の可否のみの話ではなく、例えば取り入れるなら「目的」を定め、それに対して議論するとか、取り入れないなら「理由」を洗い出し、それに対しての解決策を議論するなど中身の深い議論が出来るようにしたいと思っています。

2. 今後、研修で得た知識等について、町議会活動にどのように反映するか

議員活動の中で、今回の議会改革の一つとして町民の皆さまに「東員町議会は通年議会について議論しています」と説明できるようにしていきたいと考えています。

また、勿論議員一人一人の意見も伝えていきたいと思います。

3. その他

今回、小林講師の言われた事で一つ気になることが有りました。それは議会が送った資料です。送った目的は何だったのか。

また、講師がそれを正直に言ったことです。講義を依頼しておきながら資料を提供する行為は講師に対して失礼だと感じました。（個人的意見）目的があれば別ですが。

この後、議運として「通年議会」の視察研修に行く予定と聞いております。今回の講義と視察研修が活かされるものと期待します。

以上